

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	メディア	学科
担当科目	ファーストイヤーセミナー (勝野)		

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

今期はファーストイヤーセミナーということで、レポートの書き方や学内でのパソコンの使い方や Active Mail の使い方など基本的なことを教えることはできたと思う。TA さんがいるため機器の準備や配布資料の準備などはほとんどいらず、先生が指示したことをグループで話し合っている時やパソコン名での作業中にアドバイスや補助をすることが多かった。

春学期で一番感じたことは、確かに学年が上ということで、それなりにアドバイスできることもあるが、基本的には同じゼミの先輩がチューターを務める方が望ましいように感じた。後期に入ってより専門的な分野に足を踏み入れるに従って、先生の専門分野に詳しい人の方が文献や資料やアプローチの仕方をより具体的に提示してあげることができると思う。自分はジャーナリズムを専攻しているので、映像論やカルチャー系のことは幾つか講義を受けただけで、その分で分かっていることでしか提示してあげられない。勝野先生のファーストイヤーセミナーは小グループで話し合いをしたり作業をするシーンがしばしばあり、迷っているところに出来わたることが何回かあったためにこのように感じたのだと思う。

7月には体調がなかなか優れず、出勤できなかったが、後期はまた少しでも役に立てるように参加したいと思う。

<今後のチューターまたは先生への提案>

前述のとおり、チューターはできればおば時ゼミの先輩をできる限り起用する方がいいと思います。

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

所 属

社会学部

メディア学科

担当科目

ファーストイヤーセミナー（青木先生）

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

毎回ゼミに出席し、アシスタントとしてプリントを配布したり、模範のプレゼンを実施したりしました。同じ青木ゼミで学んでいる「先輩」として、毎回の発表に対してコメントやアドバイスを求められました。

三回生にもなると、自分のゼミでは厳しい質問やコメント、指摘が多いので、それになれてしまっている状態で FYS でコメントをしてしまうとやる気を削いでしまったり、しょんぼりさせてしまうと思ったので、いかにやる気をだしてもらうか、伝えたいことを分かってもらうか、の言葉選びがすごく大変でした。

それにしても、今年の青木ゼミの一回生は論理的な考え方を出来る方が多くて、驚きました。自分自身、感覚的に物事を捉えていくタイプなので見習わないといけない部分がたくさんありました。この傾向はどのゼミにも表れているのでしょうか？

秋学期にはもっといろいろな知識を吸収して伝えていけるようにいろいろなものに触れていこうと思います。

<今後のチューターまたは先生への提案>

大学生になって初めて経験する、「プレゼン」という発表形式。高校生のときはなかなか経験できないことだと思うので、いきなり「プレゼンをしてください」と言われても、よくわかっていない方が多かったのではないかと思います。漠然としたイメージしかなかったと思います。なので、まずプレゼンとはどういうものなのか、どうすれば効果的なのか、プレゼンに際しての資料の作り方など、基礎的な知識を与えてあげてから発表させてあげるといいかなあと思いました。もちろんそこから自分で調べたり、練習したりすることも大事だと思うので、自主学習も勧めてあげられたらいいと思います。

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	メディア	学科
担当科目	FYS/勝野ゼミ		

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

**仕事内容**

授業のサポート。プリントの配布やコンピュータの使い方の説明など。

**気づいたこと**

学生によってパソコンやインターネットに対する知識に差がある。同様にレポート書き方など大学生活で基本となることに対する知識もばらばらである。そのため、レポートやプレゼンテーションに対して不安を感じている学生が多く見受けられた。

チューターを担当したクラスが1回生のゼミであったためか、学生同士の議論はあまり活発ではなかったように思う。(現在まで自分自身が所属していたゼミと比べて)

これにも慣れが必要だと思うが、学生からの質問や意見が授業中に出ることは少なく、高校の授業と雰囲気似ていたように思う。

**感想**

チューターとして授業に参加したが、学生と距離があり、質問を受けたり、アドバイスをすることも出来なかった。次回からは、もう少し学生に話しかけて自分からサポートできることを探そうと思う。

また、就職活動など自分自身の都合であまり授業に参加できなかったのも、秋学期からはもう少し出席できるよう予定を組もうと思う。

少ない時間ではあったが、同じ学科の一回生と接する時間をもてたことで初心を思い出した。普段は接する機会があまりないが、同じメディア学科の学生だから出来るアドバイスもあると思うので今後も交流を持っていきたい。

<今後のチューターまたは先生への提案>

ゼミ以外の時間にチューターと学生が接する時間があれば、よりよいアドバイスが出来るのかと感じた。